

Case : 65

キャストがエレベータの隙間に入り、身動きがとれなくなる

場面の説明

エレベータに進入した際、前輪キャストが引っかかり、何度も前輪キャストを動かすうちに、溝にはまった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 エレベーター
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

キャストに限らず、杖や歩行器でも起こりうる事例です。街で歩行車を利用する際には、段差や溝など様々な障害に注意して、持ち上げるなどの操作をする必要があります。安全に使用するには、そのような障害に注意を払い、的確な判断をしながら進行することが必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：隙間がよく見えていなかった
- 人：提供者からの注意喚起が欠けていた
- モノ：ちょうど溝にはまり込みやすいキャストだった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 65

キャストがエレベータの隙間に入り、身動きがとれなくなる

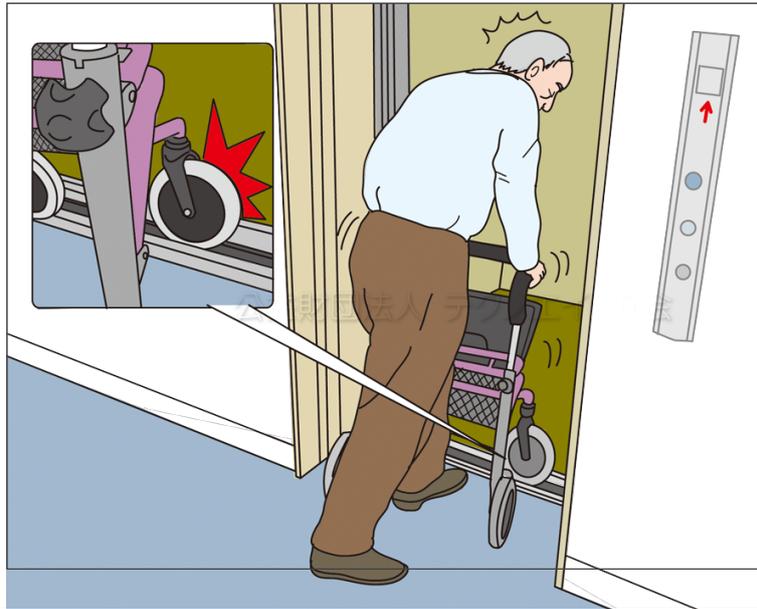
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

エレベータに進入した際、前輪キャストが引っかかり、何度も前輪キャストを動かすうちに、溝にはまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ